

Library Times

2月号
(Vol.0166)

うるう年といえば…？

今年うるう年。そのため、2月はいつもより1日多く29日あります。「うるう（閏）」とは、季節や暦を調節するため、日数や月が平年より多いことを指します。最近では、時計と地球の自転のズレを調整するうるう秒の廃止が決まったことが記憶に新しいのではないのでしょうか。

うるう年といえば、夏季オリンピック・イヤーでもあります。世界最大のスポーツの祭典に、今から心待ちの方も多いのでは？

ちなみに、アメリカ大統領選挙もうるう年に行なわれています。どれも4年に一度訪れる大切な日ですね。



今月の1冊

『読んで旅する海外文学』

重松 理恵／著（019シ）

情報センター・一般コーナー

——いつでも、どこでも旅に行ける

そう、本の中でなら！



テレビのヒッチハイク企画への憧れから、読書で世界一周へ！ 実際に南米大陸以外への海外旅行を制覇した著者が紹介する24の国の旅行記とブックレビュー。あなたも世界一周の旅のページを開きませんか？

※イラストはイメージ画像です（本の表紙ではありません）

コシ聴く!!

おすすめCD

新着コーナーからおすすめのCDをご紹介します！ その日の気分に合わせて、いろいろなジャンルのCDを聞いてみませんか？

『一之輔の、20年ということ』

春風亭 一之輔／口演（560シ）

200を超える持ちネタがあり、年間900の高座をこなす気鋭の落語家・春風亭一之輔のメモリアルCD。「鈴ヶ森」「粗忽の釘」など4作を収録。滑稽漸から人情漸まで、一之輔の魅力を味わえる1枚。



おすすめDVD

どれ観る？

映画やアニメ、趣味など話題のDVDをピックアップ！

子どもから大人まで楽しめる1枚をご紹介します！ 館内での視聴も大歓迎です！



『RRR』

S. S. ラージャマウリ／監督・脚本（778. 2ア）

1920年、英国植民地時代のインドを舞台に、さらわれた幼い少女を救うため、男たちが立ち上がる！ ド派手なアクションや高難度のナートゥダンスで話題を集めたインド映画の超大作が登場！

何を読む？

おすすめ図書

読み聞かせや学習に役立つ資料を毎月1冊ピックアップ！
スタッフがおすすめる児童向けの本をご紹介します！

『馬場のぼるのおえかき教室』

馬場 のぼる／作（72バ）

おえかき苦手な人、集まれー！ 『11ぴきのねこ』の馬場のぼるが動物の描き方をレクチャー。ねこ、イヌ、そしてゾウやタコ、十二支の動物まで……。紙と鉛筆さえあれば、誰でもおえかきを楽しめます。



●●● 展示・イベント情報 ●●●



「パワースポット」

◇カウンター前展示コーナー：2月 1日（木）～2月25日（日）



「さむい つめたい あったかい」

◇児童展示コーナー：2月 1日（木）～3月28日（木）



「おとの定期便：小澤征爾」

◆日時：2月10日（土）、24日（土）10:00～18:00



「八戸えんぶりDVD上映」

◆図書情報センター内：2月17日（土）～20日（火）



「貸出点数・貸出期間の変更のお知らせ」

◇年末年始の休館に伴い、次の期間中貸出数と貸出期間を変更します。

	貸出点数・貸出期間	変更期間
本・雑誌	10冊まで 22日間	2月12日（月）
CD・ビデオ・DVD	6点まで 22日間	～2月25日（日）

※図書情報センターの公式X（旧 Twitter）（アカウント名：@8eki_lib）では
様々な情報を発信しています。ぜひご覧ください！



図書館 de 応援！



図書館から、ヴァンラーレ八戸や東北フリーブレイズの活躍を発信します。



ヴァンラーレ八戸の新体制ならびに選手の背番号が発表されました。来季のクラブスローガンは「超えて行け、その壁を。全緑2024」。クラブ過去最高の順位を超えるため、そしてJ2への昇格を目指し、来季の活躍も楽しみです。

アジアリーグもいよいよ佳境へ！ 2月はフラット八戸での試合はありませんが、H. C. 栃木日光アイスバックスならびにレッドイーグル北海道と対戦します。Xの公式アカウントでは、選手たちの練習写真も見られますよ。





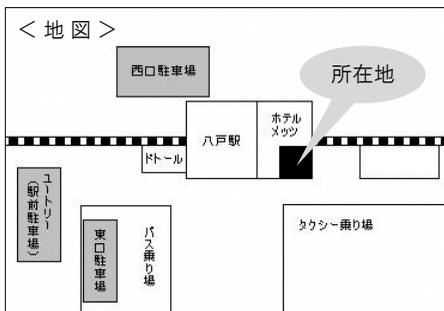
ホツとひと息 スタッフコラム

おんでやあんせ らいぶらりい

第165回：好きな人の幸福を願う作品について考える

少し前に、東映の YouTube チャンネルで夏目漱石原作の映画『それから』が無料公開されていた。森田芳光監督の1985年の映画だ。その映画が気に入って、原作を年末から読み始めた。主人公の代助は三千代という好きな人があったけれども、友人が妻に望んだために結婚を後押しすることになった。ところが、三年後に友人夫妻が大阪から東京に戻ってきたとき、三千代が幸せそうではない様子が気にかかった。金銭の手助けをしたり、元気がない三千代を励ましたりするうちに、代助は三千代への愛が抑えられなくなっていく。三千代が幸せであれば一生考えなくて済んだことだったろうに、友人との仲を取り持ったことを代助は後悔する。なぜ漱石はこのような出口のない恋愛小説を書いたのだろうかと思像する。映画では松田優作の複雑な表情で語られるが、小説の中では代助の心の内を知ることができる。不思議なことに、作中の明治時代も不景気で、人々は生きづらさを感じていて、まるで現代と同じような気がする。1909年も2024年も、人が人を大切に思う感覚は同じだった。

*** 八戸市図書情報センター 利用案内 ***



○開館時間

平日 10:00～20:00
土日祝 10:00～18:00

○休館日

2月13日(火)、26日(月)～29日(水)

○貸出

図書・雑誌 8冊まで(15日以内)
A V 4点まで(15日以内)

○お車でお越しのお客様へ

地図  部の駐車場に限り、1時間の無料駐車券を発行いたします。

希望のお客様は、お手数ですが、お帰りの際に駐車券のご提示をお願いいたします。

【お問合せ先】TEL (0178) 70-2600